

めぐろ観光ボランティアガイド利用時における 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症に対する「新しい生活様式」におけるめぐろ観光ボランティアガイド利用に当たって、利用者に遵守いただきたい事項について定めるものです。なお、本ガイドラインは東京都の休業要請等の状況に応じ、適宜変更する場合があります。

① 基本的事項

以下に該当する場合は、利用をお控えください。

- ア) 体調が良くない場合（発熱や咳、咽頭痛、頭痛、味覚障害などの症状がある場合）
- イ) ガイド利用日から遡り過去16日以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触（*1）がある場合
- ウ) ガイド利用日から遡り過去16日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触（*2）がある場合（*1）（*2）の定義は末尾に記載

② 「体温測定結果と症状の有無・行動の状況」事前チェックシートの提出

感染者の発生に備えて、連絡先と当日の体温測定結果、健康状態等をヒアリングする事前チェックシートを参加される方全員にご記入のうえご持参していただきます。当日ガイドが確認させていただいた後は、グループの代表の方が持ち帰り、1か月間保管していただきます。

ガイドツアー当日から1か月の間に、グループの中か当日担当したガイドの中で感染症発症者が発生したときは、保健所から事前チェックシート提出の要請がある可能性があります。

*「体温測定結果と症状の有無・行動の状況 事前チェックシート」は、ホームページ本文に戻りダウンロードしてご記入ください。

③ ガイドツアー当日の感染防止策

催行人数		密を避けるため、参加者5名に対してガイド1名がご案内します。(参加者；1班につき最低3名、最高5名)
感 染 症 対 策	検温・体調	ガイド当日、自宅で検温をお願いします。 37.5℃以上の発熱、体調不良の場合はご遠慮ください。
	マスク着用	マスクの着用を必須とします。
	ソーシャル・ディスタンス	ガイド中は、人と人の距離を2m（最低1m）離すように心掛けてください。
熱中症予防		マスク着用により熱中症の危険性が高まるので、熱中症予防を一層徹底します。 ◆当日の気温及び「暑さ指数（WBGT）」を参考に基準（気温 35 度あるいは暑さ指数 31 度）を超える場合は中止とします（WBGT は環境

	<p>省ウェブサイト提供：https://www.wbgt.env.go.jp/）。</p> <p>◆こまめな給水を心掛けてください。</p> <p>◆帽子や日傘をご用意ください。</p> <p>*日頃の体温測定、健康チェックは、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。</p>
--	---

【定義】

*** 1：濃厚接触(者)の定義**

① 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることの出来る距離（目安として 1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

② 「患者（確定例）の感染可能期間」とは、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状（以下参照）を呈した 2 日前から隔離開始までの間、とする。

* 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

* 2：濃厚接触(者)の定義 上記「*1 濃厚接触(者)の定義」中、「患者」を「当該在住者」に入れ替えたもの。

（国立感染症研究所 感染症疫学センター2020.4.20 版「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要項」より引用）